

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	老年臨床看護Ⅰ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	1年次
概要	健康障害をもつ高齢者の日常生活の適応に向けて、その高齢者と家族に応じた看護実践の必要性と方法を理解できる。		
学習目標	1. 高齢者の特徴とアセスメントの基本が理解できる。 2. 高齢者の特徴を踏まえた日常生活援助が理解できる。 3. 高齢者の特徴を踏まえた主要症状別看護が理解できる。 4. 主な疾患をもつ高齢者への対応方法と看護が理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	高齢者の特徴、高齢者総合機能評価、フィジカルアセスメント	講義	
2	高齢者の特徴を踏まえた日常生活援助①(コミュニケーション・基本動作)	講義	
3	高齢者の特徴を踏まえた日常生活援助②(転倒・転落予防、排泄、清潔・整容)	講義	
4	高齢者の特徴を踏まえた日常生活援助③(休息・睡眠、環境整備、食事)	講義	
5	高齢者の特徴を踏まえた日常生活援助④(セクシュアリティ、社会参加)	講義	
6	高齢者の特徴を踏まえた主要症状別看護①(めまい、脱水、かゆみ)	講義	
7	高齢者の特徴を踏まえた主要症状別看護②(褥瘡、熱中症、痛み)	講義	
8	高齢者の特徴を踏まえた主要症状別看護③(呼吸困難、食欲不振、歩き回り)	講義	
9	高齢者の特徴を踏まえた主要症状別看護④(集中力低下、フレイル・ロコモ等)	講義	
10	主な疾患をもつ高齢者への看護①(脳・神経、循環器、呼吸器)	講義	
11	主な疾患をもつ高齢者への看護②(消化器、内分泌・代謝、腎・泌尿器)	講義	
12	主な疾患をもつ高齢者への看護③(運動器、皮膚疾患、感染症)	講義	
13	認知症高齢者の看護①(認知症の病態・症状、検査・診断、治療)	講義	
14	認知症高齢者の看護②(アセスメントの視点、看護問題、目標と看護)	講義	
15	まとめ・試験	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護			
成績評価の方法			
筆記試験 100%			
備考			
15回全て合同講義			